

## 国際教養学部(外国語) 問題解説

### □■ 出題意図・評価方法・評価ポイント

全体として、英文を的確に読んで理解する力、英語で表現する力を問うています。

- 〔Ⅰ〕 人間の利他的な振る舞いについて書かれた記事を読み、乳児の利他性を調べた実験の概要、人間の利他性の由来に関する複数の仮説について理解できているか確認するポイントを出題し、文章の概要を的確に読み解く力を問うています。
- 〔Ⅱ〕 社会的不平等について、悼まれる死とそうではない死に関連付けて論じた文章を読み、筆者の主張が理解できているか確認するポイントを出題し、文章の概要を的確に読み解く力と、文章内容をふまえて英語で発信する力を問うています。
- 〔Ⅲ〕 ことばよりイメージを使って思考・表現する人々の特性と社会的貢献について述べた新聞記事を読み、筆者自身の長年の体験に基づいて語られたその特性と貢献について正確に理解し、学校教育と職場における筆者の提言を的確に表現する力を求めています。

### □■ 受験生へのメッセージ

本学の英語科目の試験においては以下の能力を測っています。

- ・文章を迅速かつ的確に読み取る力（読解力）
- ・論点を正確に把握し、日本語で分かりやすく説明する力（説明力）
- ・英文の構造を理解して、適切な日本語に置き換える力（和訳）
- ・単に日本語を英語に書き換えるのではなく、自分の意見等を英語で表現する力（自由英作文）

高校の授業での英語学習に加えて、日頃から新聞、雑誌、学術書などのオーセンティックな英語（実際に使用されている英語）に触れておくことをお勧めします。また、本学入学後は、「学ぶための英語」ではなく、「使うための英語」の学修が求められます。リーディングやリスニングといった受信型スキルだけでなく、スピーキングやライティングといった発信型スキルの修得を高校時代から心掛けておくとうよいでしょう。